

第2回 日本精密測定機器工業会 ものづくりセミナー

計測機器の正しい使い方とその校正について

日時
会場

2019年11月20日(水) 13:00~17:00 (受付開始12:30)
北越銀行 本店 2階講堂(新潟県長岡市大手通2-2-14)
長岡駅より、徒歩5分

第1部

13:00~14:30 「モノづくり現場の計測管理」

計測はモノづくり現場のあらゆる場面で行われている。しかし、計測管理は意外にやれていない。「計測管理がやれている(できている)状態とは？」本セミナーでは、そんな疑問に分かりやすく応える。

講師:株式会社 三弘 顧問 大竹英世 氏(元トヨタ自動車(株)計測技術部)

第2部

14:45~16:00 「スモールツールの管理と校正」

スモールツールと呼ばれるノギス、マイクロメータや基準器となるブロックゲージなどは身近に使われているにもかかわらず、正しい使い方、校正を含む管理方法が普及しているとは言い難い。本セミナーでは、改めてその正しい使い方から管理方法までを再確認する。

講師:株式会社 ミットヨ 計量標準室 室長 鳴海達也 氏

第3部

16:00~17:00 「精密定盤の管理と利用方法」

精密定盤は正しく平らな平面に仕上げられ、測定や組立の基準面として使用されている。平面の測定方法や、定盤を利用した測定、平面を長く保証するための工夫や用途に合った定盤の選び方について学ぶ。

講師:株式会社 大菱計器製作所 技術設計課 課長 池内克徳 氏

参加費

無料。ただし、テキスト代として500円申し受けます。
工業会会員及び賛助会員は、テキスト代も無料です。

定員

180名(先着順)。
定員を超えた場合には、同一企業様からの人数を制限させていただくことがあります。

共 催: 日本精密測定機器工業会、(株)北越銀行

協 賛: (公社)精密工学会北陸信越支部、長岡技術者協会、(一社)新潟県電子機械工業会NEIA、
(予定含む) 長岡鉄工業協同組合

後 援: 魚沼市ものづくり振興協議会、小千谷鉄工電子協同組合、柏崎技術開発振興協会、
(予定含む) NPO法人長岡産業活性化協会NAZE、長岡商工会議所、
(公財)にいがた産業創造機構NICO、日本機械工具工業会、日本光学測定機工業会、
(一社)日本工作機械工業会、日本精密機械工業会

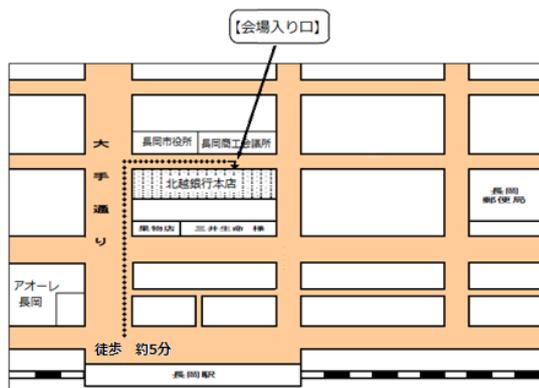
特別協力: (株)第一測範製作所

申込み

日本精密測定機器工業会HP (<http://www.jpamia.gr.jp/exhibition/index.html>) から受講申し込み書をダウンロードしていただき、工業会宛てメール (info@jpamia.gr.jp) 又は、FAX(03-3434-1695)でお申込みください。

社名			
住所	〒		
申込み代表者	部署・役職	氏名 (フリガナ)	E-mail: Tel: Fax:
参加者1	部署・役職	氏名 (フリガナ)	
参加者2	部署・役職	氏名 (フリガナ)	
参加者3	部署・役職	氏名 (フリガナ)	
<p>個人情報のお取り扱いについて ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、本セミナーの運営に利用するほか、当会員による情報の提供に利用させていただきます。</p>			

会場アクセス



JR長岡駅大手口(西口)出口から徒歩約5分



駐車場 ご注意

会場の駐車場は利用できませんので、ご注意願います。
ご来場の際には、公共交通機関、又は近隣の有料駐車場をご利用ください。
有料駐車場の検索は“パーキングナビながおか (<http://www.p-navi-nagaoka.jp/top.html>) が便利です。

日本精密測定機器工業会とは

1954(昭和29)年、会員相互の情報共有、技術の向上を目的に設立された測定機器メーカーの団体。会員数49社。出荷額1,200億円/年。

新潟県内では、(株)大菱計器製作所(長岡市)、オヂヤセイキ(株)(小千谷市)、(株)科学計器研究所(長岡市)、(株)第一測範製作所(小千谷市)、新潟精機(株)(三条市)、新潟理研測範(株)(長岡市)、(株)理研計測器製作所(魚沼市)、以上7社が加盟。